

## 痛みのアセスメントの一例

- 左肩～上肢のしびれと動作時痛
  - エトドラクが効いていたが現在はNRS8/10
  - 左上腕骨転移（体性痛）
  - 病的圧迫骨折を伴う第1胸椎転移（神経障害性疼痛）
  - 左鎖骨上窩から腋窩にかけてのリンパ節腫大による左腕神経叢の圧迫（神経障害性疼痛、筋力低下を伴う）
- 左季肋部付近の違和感
  - 肝転移による肝腫大（内臓痛）

PEACE

## 実際のマネジメントの一例…

- オキシコドン徐放性製剤 10mg/日
  - レスキュー薬：オキシコドン速放性製剤 2.5mg/回
  - オピオイドの副作用対策：制吐薬、緩下剤
  - エトドラク400mg/日は継続、抗潰瘍薬を併用
- 鎮痛補助薬（プレガバリンなど）を検討
  - プレガバリン25mg/眠前から開始し、眠気などの副作用を見ながら調節する
- リンパ節腫大による神経圧迫に対してステロイド（ベタメタゾンなど）を検討
- 歯科受診後にゾレドロン酸4mgの点滴を開始

PEACE

## …実際のマネジメントの一例

- 放射線治療：胸椎、左上腕骨、左鎖骨上窩～腋窩のリンパ節腫大に対して
  - 線量や回数は状況による

PEACE

## その他の身体症状

- 四肢末端のビリビリとしたしびれ
  - 抗がん剤（パクリタキセル）による末梢神経障害（神経障害性疼痛）
- 右上肢の浮腫と重い感じ
  - 腋窩郭清及び術後照射によるリンパ浮腫

PEACE

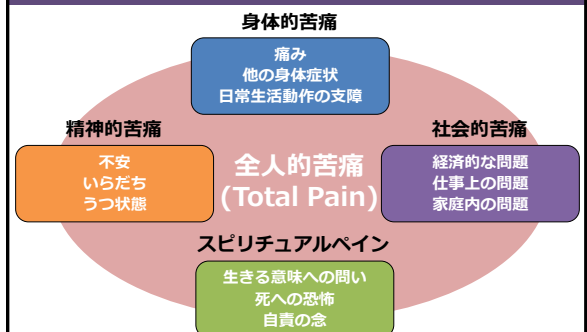
## その他に

- 動作前（30～60分）のレスキュー薬使用
- 痛みがでない姿勢や移動の工夫
- コルセット、アームスリング（もしくは三角巾+バストバンド固定）
- 複合的理学療法（リンパ浮腫に）
- リラックス、気分転換
- 不安に対する支持的介入



PEACE

## 全人的苦痛



PEACE

## 身体的症状以外の問題点

本人にとって

- 今後の見通しに対する不安
- 家族や社会における役割を果たせないことに対する不安と申し訳ないという気持ち
- 子供への病状説明についての不安
- 副作用や経済的負担による治療中断
- 様々な不安の中で、楽しみの喪失

## まとめ

- がん疼痛を適切に評価し、それに基づいたマネジメントを行うことが重要である
- がん患者の全人的な苦痛に配慮することが必要である
- がん疼痛への対処をチームで行うことが重要である

## 補助スライド

## その後…

- 主治医より、抗がん治療継続によるメリットについて説明された
- 緩和ケアチームの支援を受けながらの抗がん治療継続が提案された
- 患者は緩和ケアチームの介入を承諾
- 軽度の抑うつに関しては、精神科医の協力もあり、カウンセリングなどの介入によって、落ち着きを取り戻した

## …その後…

- 可能な範囲で社会的支援を受け、治療を続けたいという意向が明確になった
- 家族ともその方針で考えが一致した
- 社会的資源の活用を進めた
  - 高額療養費制度を利用した
  - 家事など、本人の母親の援助が得られた
  - 介護保険導入は、抗がん治療を継続することになり、見合わせるようになった

## …その後…

- 主治医のアドバイスもあり、臨床心理士立会いのもと、本人が子どもたちに対して、病状の説明を行った
  - 長女はそれなりに理解していたようで、現実的に受け止めていた
  - 長男も、説明直後は衝撃を受けたようだが、長女の援助もあり、翌日には「治療を受けてほしい」と語っていた

## …その後

- 長女、長男はそれぞれの生活を送りながら、患者を支援している
- 本人は、母親の手を借りつつ家事をし、仕事にも復帰した。
- コーラスグループの活動も再開した
- 抗がん治療を再開後、肝転移とリンパ節転移が縮小した。体調も改善し、安定した日常生活を送れるようになった

PEACE

## グループワーク

- グループ内で**三役**を決めましょう
  - 1) **司会**：ディスカッションの進行役  
メンバー全員が意見を出せるように配慮
  - 2) **書記**：ホワイトボードに書く  
意見も述べてください
  - 3) **発表者**：全体発表の場で発表する

PEACE